様式４

プロポーザル方式における特定結果書

１　業　務　名　　港湾域内施設の維持管理の効率化技術にかかる検討業務
２　所属事務所　　東北地方整備局　港湾空港部
３　方　　式　　簡易公募型プロポーザル方式
４　技術提案書の提出要請日　　令和6年7月11日
５　公　示　日　　令和6年6月21日
６　特定通知日　　令和6年8月28日

技術提案書提出者	特定の有無	特定されなかった理由
一般財団法人 沿岸技術研究センター	○	
（以上１者）		

業務のプロポーザル方式【簡易公募型】 評価表（特定段階）

件名：港湾域内施設の維持管理の効率化技術にかかる検討業務

評価項目				配点	(一財)沿岸技術研究センター 平均点
配置予定管理技術者（又は配置予定技術指導者）の経験及び能力	資格要件	配置予定管理技術者資格	配置予定管理技術者資格、その専門分野の内容 ○当該業務に特化した資格　海洋・港湾構造物維持管理士 ①以下のいずれかの資格 ・技術士(総合技術監理部門(選択科目:建設) 又は建設部門)と当該業務に特化した資格の両方を保有 ・博士(工学)と当該業務に特化した資格の両方を保有 ②以下のいずれかの資格 ・技術士(総合技術監理部門(選択科目:建設) 又は建設部門) ・博士(工学) ・海洋・港湾構造物維持管理士 ③以下の資格 ・RCCM(港湾及び空港部門)又は同等の能力を有する者。ただし、港湾関係の実務経験が3年以上ある者。 ④以下のいずれかの資格 ・土木学会認定技術者(特別上級、上級又は1級土木技術者) ・APECエンジニア(Civil、Structural、Environmental、Geotechnical又はIndustrial) ・海洋・港湾構造物設計士 ・一級土木施工管理技士 ・コンクリート診断士	① 9 ② 7 ③ 5 ④ 3	3
	業務経験	業務実績	平成26年度以降に完了した同種又は類似業務の実績の内容(海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度により認定された海外実績(港湾空港関係に限る)を含む) (技術指導者を配置する場合は配置予定技術指導者を評価する。) 同種業務: 港湾施設または海岸保全施設の老朽化対策または延命化の検討を行った業務 類似業務: 港湾施設または海岸保全施設の維持管理計画書作成を行った業務	同種 16 類似 8	16
	専門技術力	業務成績	地方整備局・沖縄総合事務局及び国土技術政策総合研究所(いずれも港湾空港関係)発注の令和2年度～令和4年度に完了した「建設コンサルタント等」業務の内、管理技術者として従事した業務(実績がない場合は担当技術者として従事した業務)の平均請負業務成績評定点 (技術指導者を配置する場合は配置予定技術指導者を評価する。) ①80点以上 ②77点以上～80点未満 ③74点以上～77点未満 ④70点以上～74点未満 ⑤60点以上～70点未満又は業務成績がない場合	①10 ② 8 ③ 6 ④ 4 ⑤ 2	8
		優良表彰	海外インフラプロジェクト優秀技術者国土交通大臣賞又は大臣奨励賞(港湾空港関係に限る)の有無、東北地方整備局(港湾空港関係に限る)発注の令和2年度～令和4年度に完了した「建設コンサルタント等」業務における優秀技術者表彰の経験若しくは災害協定に基づく活動実績表彰(感謝状)がある者を評価する。(技術指導者を配置する場合は配置予定技術指導者を評価する。) ①以下のいずれかに該当する者 ・海外インフラプロジェクト優秀技術者国土交通大臣賞 ・優秀技術者表彰(局長) ②以下のいずれかに該当する者 ・海外インフラプロジェクト優秀技術者国土交通大臣奨励賞 ・優秀技術者表彰(港湾空港部長又は事務所長表彰) ・災害協定に基づく活動実績表彰(局長感謝状) ③災害協定に基づく活動実績表彰(事務所長感謝状) ④実績なし	① 5 ② 3 ③ 1 ④ 0	0
小 計 (配置予定管理技術者(又は配置予定技術指導者)の経験及び能力に係る評価点)				40点	27
業務の実施方針・工程計画・その他	業務理解度		目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。 ①優れている ②やや優れている ③普通 ④劣る ⑤理解していない	① 15 ② 11 ③ 7 ④ 3 ⑤ 0	7.0000
	実施手順		業務実施手順や業務量把握状況を示す実施フロー・工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。 ①優れている ②やや優れている ③普通 ④劣る ⑤妥当ではない	① 15 ② 11 ③ 7 ④ 3 ⑤ 0	8.3333
	その他		有益な代替案、重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。 ①有益な代替案等がある ②有益な代替案等がない ※当該項目は、想定し得ない内容に対する有益提案があった際に評価すること。	① 10 ② 0	0.0000
特定テーマに対する技術提案	特定テーマ① 供用期間を迎える施設の延命化を図るための留意点とその方法を検討するための着眼点について	的確性	現場条件、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。 ①優れている ②やや優れている ③普通 ④劣る ⑤整合性がない	① 15 ② 11 ③ 7 ④ 3 ⑤ 0	7.0000
			着眼点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。 ①優れている ②やや優れている ③普通 ④劣る ⑤着眼点が不適切	① 15 ② 11 ③ 7 ④ 3 ⑤ 0	7.0000
		実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。 ①優れている ②やや優れている ③普通 ④劣る ⑤提案内容に問題がある	① 15 ② 11 ③ 7 ④ 3 ⑤ 0	7.0000
			提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。 ①裏付けが明瞭 ②裏付けが不明瞭	① 10 ② 0	10.0000
	特定テーマ② 補修施設の優先順位の考え方の着眼点について	的確性	現場条件、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。 ①優れている ②やや優れている ③普通 ④劣る ⑤整合性がない	① 15 ② 11 ③ 7 ④ 3 ⑤ 0	7.0000
			着眼点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。 ①優れている ②やや優れている ③普通 ④劣る ⑤着眼点が不適切	① 15 ② 11 ③ 7 ④ 3 ⑤ 0	9.6666
		実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。 ①優れている ②やや優れている ③普通 ④劣る ⑤提案内容に問題がある	① 15 ② 11 ③ 7 ④ 3 ⑤ 0	8.3333
			提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。 ①裏付けが明瞭 ②裏付けが不明瞭	① 10 ② 0	10.0000
小 計 (技術提案評価点)				150点	81.3333
技術評価点の合計 (技術評価の得点合計)				190点	108.3333
特定通知(案)					○